

新幹線新駅と観光、新水族館、原発などで発言次々 市議会主催の議会報告会、清里、頸城など4会場で開催

市議会主催の議会報告会が18日と20日、清里コミュニティプラザ、頸城区の希望館、高士地区公民館、公民館和田分館の4会場で行われました。（写真左の2枚は清里会場、下は頸城会場）

このうち、清里会場は町内会長や地域協議会委員など市民の参加者は約30人。佐藤敏副議長は挨拶のあと、4つの常任委員会の委員長または副委員長が報告し、その後、参加者から質問や要望が次々と出されました。北陸新幹線の上越妙高駅が近いこともあって、新幹線駅へのアクセスや観光などに関する発言が多かったですね。参加者の主な発言を紹介します。

●（仮称）厚生産業会館の建設を進める前に土地開発公社の売れ残りの土地を処分すべきだ。
●住宅リフォーム制度は非常にいい制度だ。経済を活性化できる方策だが、予算が足らず抽選となっている。これだと制度を使える人と使えない人が出て不公平感が残る。議会として（予

算の増額を）求めてもらいたい。
●9月の台風で用水路が傷んだ。地滑り指定区域から30〜40メートル離れていて、一部負担があるという。かつては地元負担がゼロだったと聞いている。地元負担なしでやってもらえる手立てはないか。

●ここから新幹線を利用するにはマイカーが基本となる。駐車場の雪対策をキチンとやると同時に、長靴を入れるロッカー設備等細かいところに配慮を。今年度、市は介護保険について大きな方向転換をしたとみている。施設の無償譲渡をしているが、老老介護で倒れたら終わりで。基本的には施設を拡充しないといけないのではないか。学校運営協議会の委員には交通費が支給されるが、私の場合は片道11円だ。それでも振込手数料がかかる。子どもたちの本代に回してもらいたい。また任期が1年というのは短すぎる。最低でも2年にすべきだ。

●牧には古墳、清里には坊が池と隕石、板倉にはえしんの里などいいところが多い。とこが高速、新幹線駅を下りても食事をするところがない。これでは通過点になってしまう。そういう施設を作り、隕石などのレプリカを展示する、物産を販売することなどができるようにしてもらいたい。

頸城区の希望館会場の参加者は議員と議会職員を除くと17人。頸城区を中心に安塚区、直江津区などから参加されていました。参加者からの質問、意見、要望の主なものを紹介します。



●道路と歩道がほぼ同じ時間帯に除雪されるので、子どもたちが学校へ行く時間には雪が積もってしまい、本来の歩道除雪が意味をなさない。何とかならないか。

●水族館の検討状況をききたい。いま現在、新築して、経

收支バランスがとれているのか。新築して、経費かけてうまくいくのか。
●水族館はこのままやっても赤字になるから新築するんだと聞いている。新築して20年後以降赤字にならない工夫が必要だ。21日の総務常任委員会で計画が出されるが、駐車場対策がなく、他施設との関連など出されていない。チェックを。新しい水族館は外貨を稼ぐ使命を持つている。

●原子力発電はすぐやめた方がいいと思ってる。小泉元総理の発言はもともとだと思ってる。新潟県以外の原発事故を視野に入れているのか、教えてほしい。志賀原発はここから100キロくらいしかない。お天道様、風次第では影響が出る。どう考えているか。



【ツルウメモドキ】漢字で「蔓梅擬」と書きます。ニシキギ科ツルウメモドキ属の落葉つる性木本。写真は花ではなく実です。赤と黄色の実が美しく、生け花などに使われています。大島区棚岡から安塚区行野に至る県道脇にて14日撮影。

春よ来い 第二八〇回 一四時間の旅

朝早く起きなければならぬという緊張感があつたのでしようか、東京へ行く前の夜は眠れない一夜になりました。

約二〇人がマイクロバスに乗り込み、吉川区総合事務所前を出発したのは午前六時過ぎ、東京吉川会が開かれる四ツ谷のホテルへと向かいました。早い時間の出発にもかかわらず、バスの中は賑やかでした。比較的静かになったのは、関越道がJR上越線の線路をまたぐあたりからです。左右に見える山々の紅葉が私たちを迎えてくれました。とくに越後湯沢近辺は見ごろで、私もカメラで何枚も風景を撮りました。

マイクロバスが東京都内に入ったのは午前一〇時過ぎです。目に入る緑は街路樹くらいなもので、それもほとんど葉が落ちていました。カシワの木の間だと思おうのですが、木肌が様々でした。つるつるしたのもあれば、ところどころはがれおちたものもあります。今年の六月に結成され、東京吉川会初参加の吉川おどり隊の八木さんや上野さんとの間で人間の肌を連想する会話をしばらく楽しみました。

ホテルに到着すると、東京吉川会の役員さんたちが出迎えてくださいました。挨拶を交わした後、「いやー、どうなるかと思いましたが」と言われたのは会長の平山勇さんです。この日は午前七時半頃、大きな地震があり、電車も止まったのです。みなさん、中越地震の時と同じように中止しなければいけないかと心配されたのでした。

総会は午前十一時半から。会場となった三階の大きなホールに入るやいなや、動物園で働いておられた逗子市のSさんが私のところに挨拶に来て下さいました。うれしかったですね。総会では、越後よしかわ酒まつりの前日にスカイトピア遊ランドで賑やかに歓迎してもらったエピソードなどを紹介した平山会長さんの挨拶や生涯学習フェスティバルなど最近の故郷の様子を伝えた武藤総合事務所長の挨拶に参加者はじっと聴き入っていました。皆さん、ふるさとの情報を楽しみにしているんですね。

懇親会が始まってまもなく、竹直出身のMさんが私のところへ挨拶にやってこられました。初めてお会いする人です。名刺をお渡しすると、「こんなもので挨拶代わりですが」と言ってお会いにくださったものは小さな細長い封筒でした。表には達筆で「すばらしき出合いの記念に」と書かれていて、中には素敵な図柄の切手が貼られたメッセージがありました。Mさんからは私が書いた本の感想、原之町や長沢に住むご姉妹（きょうだい）のことなどをお聴きしましたが、初めての出会いを大切にしている行為がとても素敵でした。

このMさんの記念品がヒントになり、私も毎回挨拶を交わす代石出身、川口市在住のMさんや尾神出身、古河市在住のSさん、米山出身のR子さんなどにささやかなプレゼントをしました。カバンの中に「山芋掘り」のことを書いた市政レポートが数枚入っていたのです。Sさんとは、「ばちや、元気かね」と声を掛け合いました。

ふるさとが同じという絆を大切にして出会い、再会し、みんなが元気をもらおう東京吉川会は今が二一回目の総会でした。私たちが吉川区総合事務所に戻ったのは午後八時一〇分でした。出発から戻るまでの所要時間は一四時間、私は今回で連続九回の参加となりましたが、今年も楽しい旅となりました。

この日、私が見た最も素敵な光景は原之町出身のYさんとNさんの握手です。お二人は幼なじみといった感じでした。本当に久しぶりだったのでしょうか、荻谷商工会長さんの席で再会した二人は笑顔で、しばらく手を握り合っていました。

新潟市で新大元学長、長崎明さんを偲ぶ会

新潟市で17日、元新潟大学学長・長崎明さんを偲ぶ会があり、参加してきました。長崎さんには生前、吉川町時代の青年団の講演会の講師を引き受けてもらったり、市議選初出馬の際には応援メッセージを寄せて

いただくなど、お世話になりました。会には県内各界から100人近い人たちが参加されていました。

会が始まる前に、長崎先生のお連れ合いが私が座っているテーブルに来て下さいました。時どき私のホームページをのぞいてくださることをお聞きしただけでも感激だったのですが、40年ほど前に吉川町青年団の用事で長崎先生の家にお邪魔をしたことまで憶えておられたのにはびっくりでした。

会では呼びかけ人を代表して関根征士さんが長崎先生の経歴と活動を紹介され、46歳



で新潟大学学長になられた経緯や学長を退いた以降の教育、平和、環境保護などの活動をみんなでたどりました。また、元県立植物園園長、松山雄二さんがスライドを上映、そこには少年時代などのめずらしい写真や県知事選の時などの懐かしい写真がたくさん出てきて、参加者を惹きつけました。いい会でした。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	11月13日(水)	11月20日(水)
上越南消防署	0.036	0.040
上越北消防署	0.040	0.057
新井消防署	0.053	0.053
頸北消防署	0.046	0.043
頸南消防署	0.040	0.043
東頸消防署	0.040	0.043
高土分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.047	0.047



吉川区の天明伸浩さんが呼び掛けた「カモ&新米を味わう会」に参加してきました。

初めてカモをしめ、毛をむしり、命をいただくことの重みを実感しました。会には東京からも参加がありました。